

# 【FH01】チェア 説明書（第三版）

この度は、弊社商品をご購入頂き、誠にありがとうございます。安全にご使用頂くため、事前に本説明書をよく読んでからご使用ください。



## 取扱上の注意

### ！ 危険

この説明を無視して誤った扱いをすると、人が死亡または重傷を負う事故が想定される内容を示しています。

- ・梱包材のビニール袋を頭にかぶらないでください。
- ・不当な修理・改造はしないでください。本製品にはガスが充てんされておりますので、該当部分の分解は絶対にしないでください。

### ！ 注意

この説明を無視して誤った扱いをすると、事故やケガ等の人的傷害、及び物的損傷が想定される内容を示しています。

- ・組み立て、設置を行う際は必ず平らな場所で行ってください。  
また床などを傷つけないよう敷物やダンボールなどを敷いてください。
- ・本製品は屋内用です。
- ・直射日光や熱暖房器の風が直接あたらない場所に置いてください。
- ・椅子の上に直接熱いものや濡れたものを置いたりしないでください。
- ・ビニールやガラスなどを長時間椅子の上に放置しないでください。
- ・湿気や水気の多い場所は避け、通気性の良い場所に置いてください。
- ・椅子に座る際、浅く座らないでください。
- ・傾斜角度の大きい場所では使用しないでください。
- ・椅子の上に立ったり、踏み台代わりに使ったり、不安定な姿勢で座ったりしないでください。
- ・肘や背もたれの上に座ったり、乗ったりしないでください。
- ・保護者の目の届かないところで、お子様に使用させないでください。
- ・回転機能付きの椅子の場合、下記の点にご注意ください。
  1. 回転金具や上部下部のすき間に指を入れないでください。
  2. 必要以上にゆすったり、回転させたりしないでください。
  3. 周囲に注意して回転させてください。
  4. 金具やキャスターは定期的に点検して、油や鉄粉が出ている場合は清掃してください。
- ・キャスター付きの椅子の場合、下記の点にご注意ください。
  1. キャスターに自分の足を挟まないようご注意ください。
  2. 不用意に椅子に寄りかかったりしないでください。
  3. 床面に傷が付かないようにカーペット等を敷いてご使用ください。  
※毛足の長いカーペットは毛を巻き込む可能性がありますので、ご使用はお控えください。
  4. キャスターに手や指を挟まないようご注意ください。
- ・クレンザー、シンナー、ベンジン、アルコール、灯油などはお手入れに使用しないでください。

※お手入れは薄めた中性洗剤を浸した柔らかい布を固く絞り汚れを落とし、乾いた布で水分をふき取ってください。

※ネジは定期的に点検して、緩んでいるときはしっかりと締めてください。

※製品および梱包材を廃棄するときは、お住まいの自治体の取り決めに従ってください。

※天災などの不可抗力や、お客様の不注意・改造による故障・破損に対する保証は致しかねます。

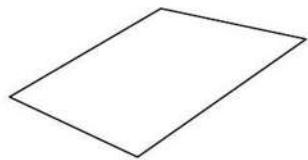
## 品質表示

・外寸	: 約 幅62×奥行62-147×高さ113-120cm
・座面高さ	: 約 43-50cm
・構造部材	: スチール、ポリプロピレン
・表面加工	: 粉体塗装
・張り材	: 背面、座面:ポリエステル100%
・クッション材	: ウレタンフォーム
・生産国	: 中国

販売者 :タンスのゲン株式会社  
〒831-0002 福岡県大川市大字下林310-3

# ご注意ください

組み立ては実際に使用する場所で、十分なスペースを取り、敷物などを下に敷いた上で行ってください。



- ※必ず手順どおりに組み立ててください。  
手順を守らないと組み立てができなかったり破損の原因となる可能性があります。
- ※ケガ防止の為、軍手・手袋（けが防止）などを用意ください。
- ※部品はなくさないようにまとめておき、取り出す際に使う分だけ取り出してください。

## 部材一覧

組み立て前に必ず全ての部品があることをご確認ください。



① チェア本体 ② シリンダー ③ レッグフレーム ④ キャスター×5 ⑤ ヘッドレスト

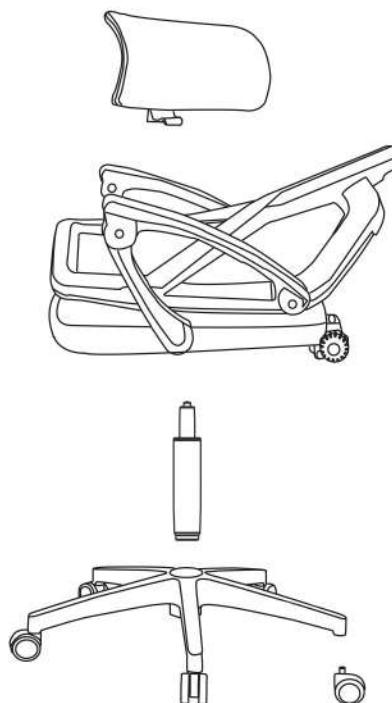
## 組み立て部品一覧



⑥ ネジ×2  
M6\*25mm ⑦ ネジ穴隠しシール×1 ⑧ 六角レンチ×1

## 組み立て方

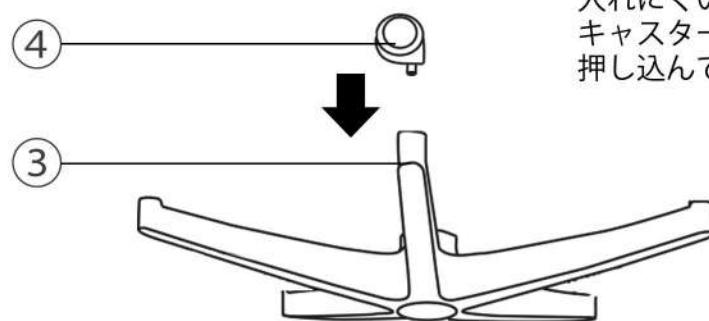
### 全体図



# 組み立て方

## 手順1

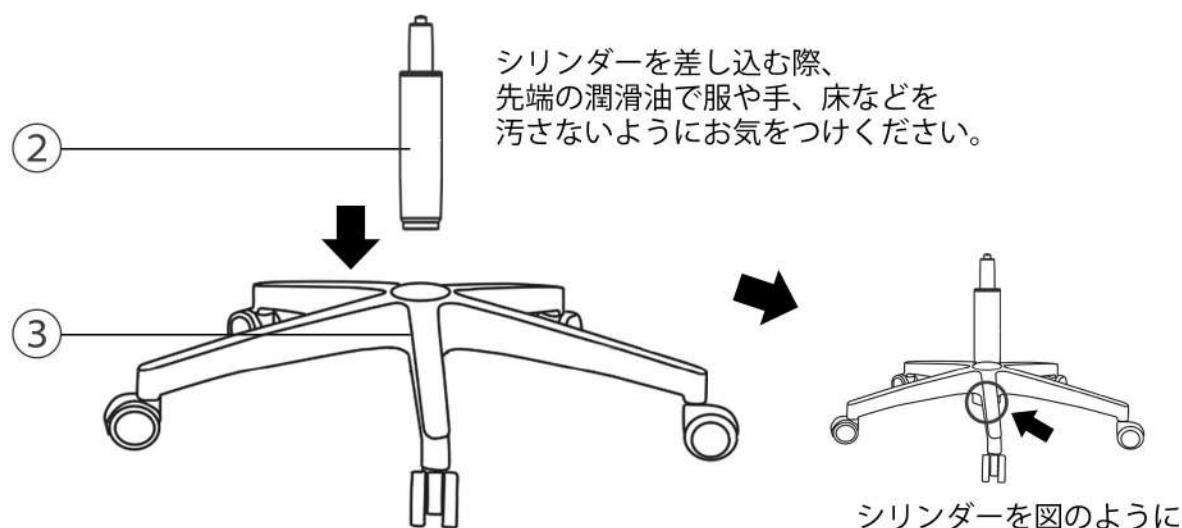
- ④キャスターを、  
③レッグフレームに  
取り付けます。



入れにくい場合はタオルや布を  
キャスターにあてて、軽く叩いて  
押し込んでください。

## 手順2

- ②シリンダーを、  
③レッグフレームに  
取り付けます。



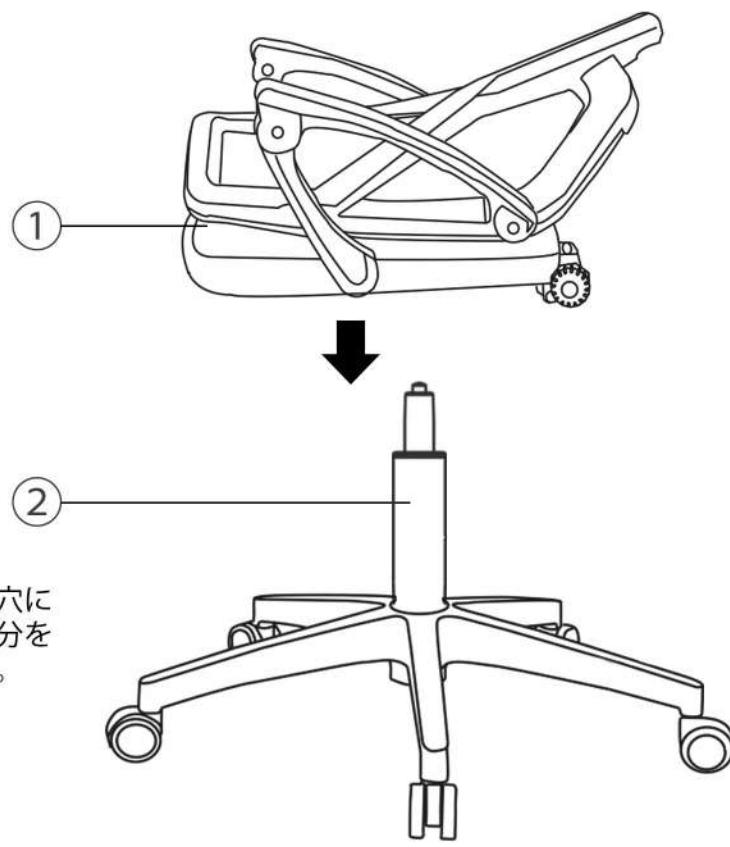
シリンダーを差し込む際、  
先端の潤滑油で服や手、床などを  
汚さないようにお気をつけください。

シリンダーを図のように  
しっかりと差し込みます。

## 手順3

- ①チェア本体を  
②シリンダーに  
取り付けます。

- ①座面裏の差し込み穴に  
②シリンダーの凸部分を  
はめ込んでください。

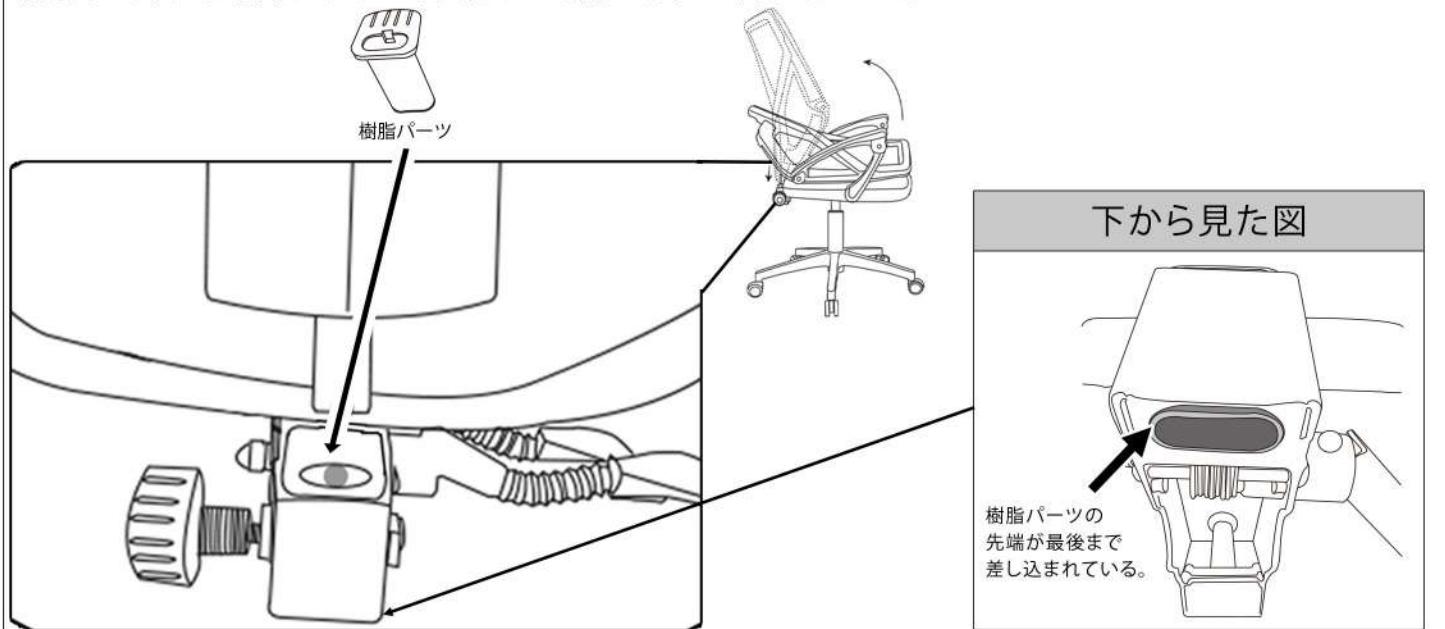


# 組み立て方

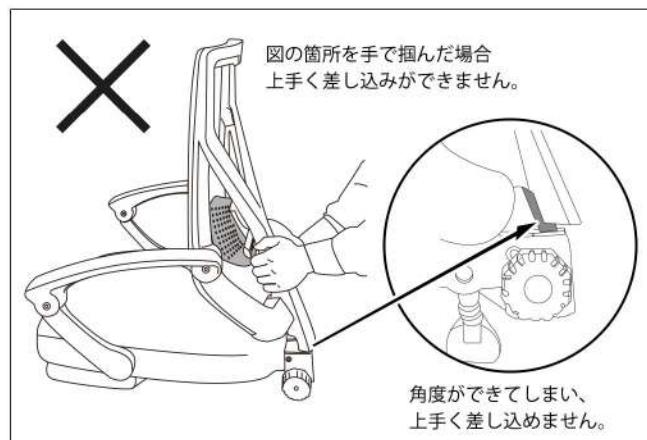
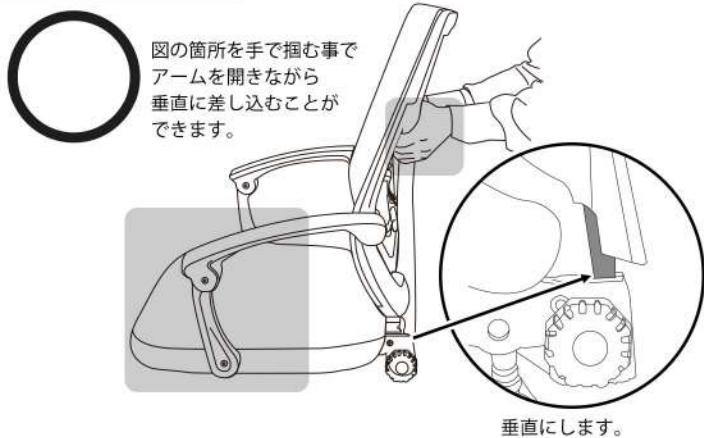
## 手順4に入る前に

樹脂パーツが奥まで差し込まれているか確認する。

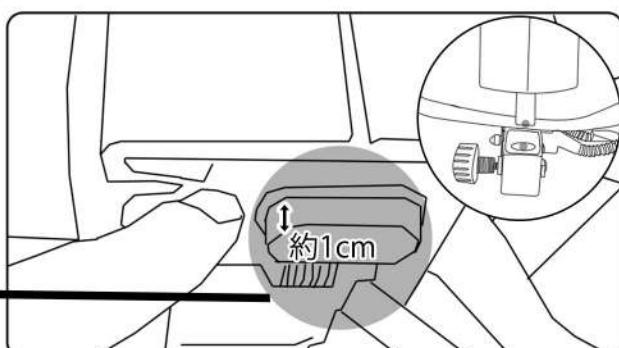
座面後方の金具には樹脂パーツが組み込まれています。  
輸送中に外れる場合があるので、組み立て前に必ずご確認ください。



## 手順4



約1cm突起しているのが、正常な状態です。  
最後まで差し込まないまま  
使用を続けると、差し込み穴が破損し  
リクライニング機能の故障にもつながります。



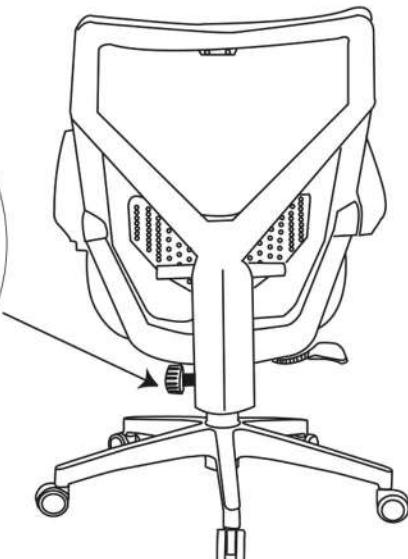
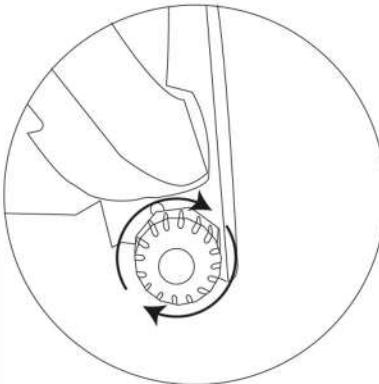
手順4がうまくいかない場合は、  
Q&Aのご確認をお願いします。

# 組み立て方

## 手順5

固定ハンドルを矢印方向に回し  
背面と座面を固定します。

背面が座面に上手く  
固定できない場合は、  
一度固定ハンドルを  
緩めてから、手順4をお試しください。



## 手順6

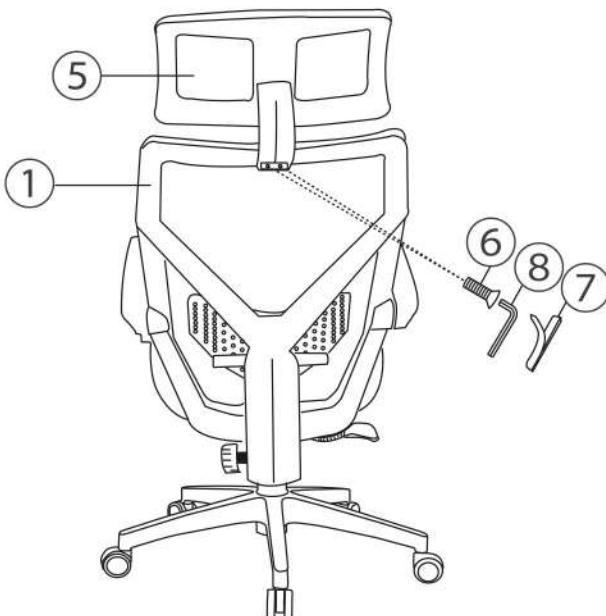
⑤ヘッドレストを  
①チェア本体に取り付けます。



### 用意する付属部品と工具

- |   |  |    |   |  |    |   |  |    |
|---|--|----|---|--|----|---|--|----|
| ⑥ |  | ×2 | ⑦ |  | ×1 | ⑧ |  | ×1 |
|---|--|----|---|--|----|---|--|----|

⑥ネジで固定し、  
⑦ネジ穴隠しシールを上から貼ります。



がたつきがないことを  
確認したら完成です。  
お疲れ様でした。

# 使い方

## ■リクライニング方法

背面にもたれながらレバーを上に引っ張り、任意の場所でレバーを下げます。

体重をかけずにレバーを引っ張ると背面が勢いよく起き上がります。ご注意ください。



## ■座高調節方法

座高を下げたい時は、座ったままレバーを上げてください。

座高を上げたい時は、腰を浮かせてレバーを上げてください。

## ■アームレスト

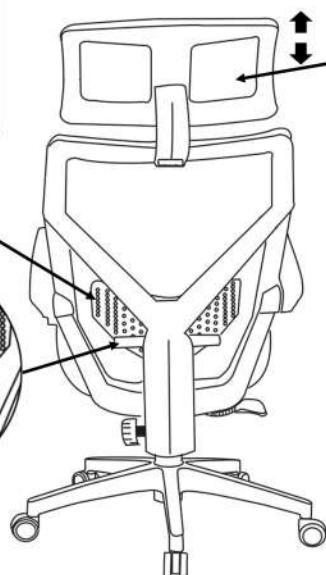
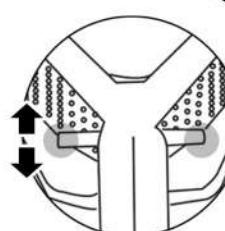
リクライニング時に同時可動します。

## ■フットレスト

図のように、クッションを取り出します。

■ランバーサポート  
4段階調節が可能です。  
両手でバーをつかみ、  
上下に動かします。

■ヘッドレスト  
無段階に角度調節が可能です。



## Q&A よくある問い合わせ

Q:高さ調節ができない。

A:使い始めや、長時間使用しなかった場合、シリンダーが正常に動いていない場合があります。

座面とシリンダーがしっかりと接続できているか、ご確認ください。

また、高さ調節は座面に強い力を与えると状況が改善する場合があります。

Q:座面/脚部からシリンダーを取り外したい。

A:ガスシリンダーを用いたチェアは、一度組み立てるとシリンダー部分の取り外しが特に困難です。

お引越しなど、取り外す必要が生じた場合は、市販のゴムハンマーで脚部、座面下を何度も叩き、力を加える事で取り外しできる場合があります。作業は手袋をはめて怪我をしないように十分に注意して行ってください。

Q:キャスターの動きが悪い

A:ほこりなどが付着している場合、キャスターが動きが悪くなる場合があります。ほこりは乾いた布やブラシ等で取り除いてください。毛足の長いラグの上で使うなど、使用環境が原因で動きが悪くなる場合があるので、使用環境をご確認ください。

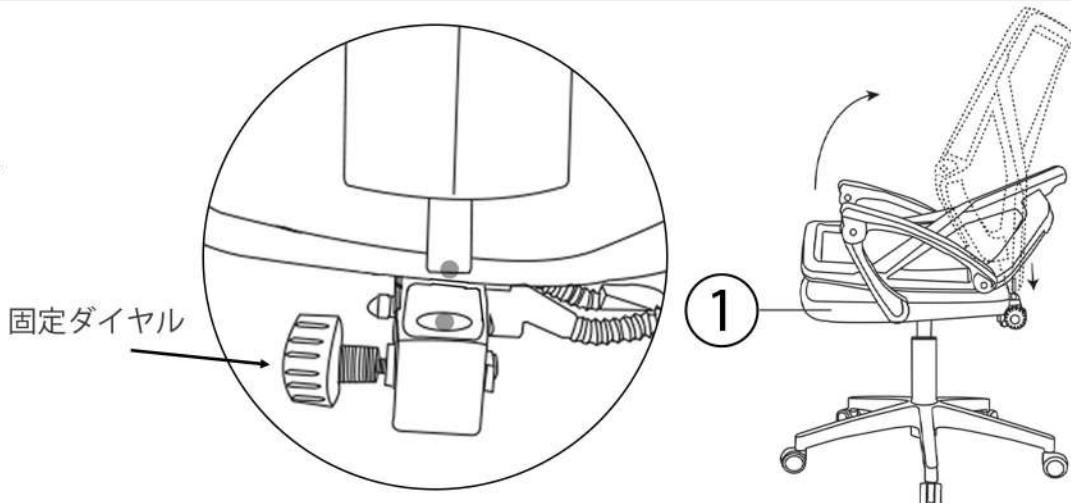
Q:手順4の差し込みがうまくいかない

A:8ページ目以降をご確認ください。

## Q&A

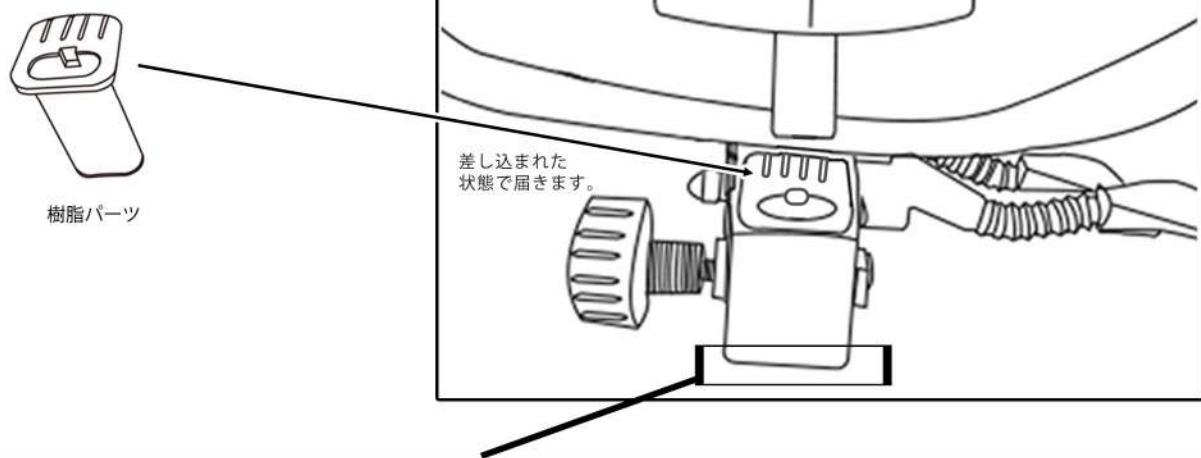
### 座面と背面の固定がうまくいかない

固定ダイヤルを一度緩めてから差し込んでください。



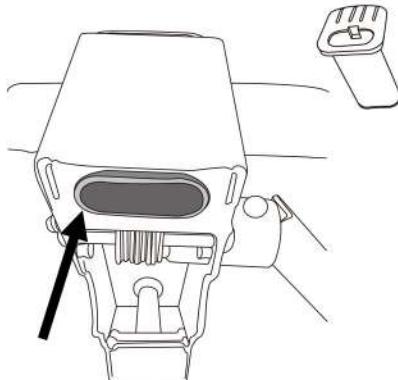
### 座面と背面の固定がうまくいかない場合 2

商品は、樹脂パーツが座面後方の金具に差し込まれた状態で届きますが、輸送中にずれてしまっている場合があります。下記手順を確認し、樹脂パーツを適切な状態にしてください。



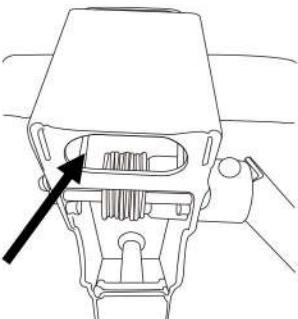
### 座面後方の金具を下から見た図

○ 樹脂パーツが最後まで差し込まれている。



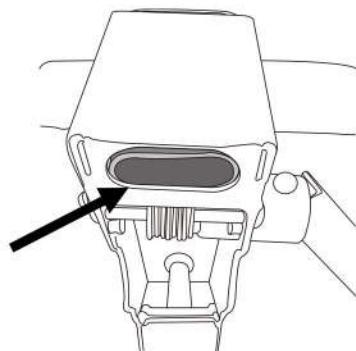
樹脂パーツの縁が  
はみ出しているのが  
適切な状態です。

✗ 樹脂パーツの先端が奥まで差し込まれていない。



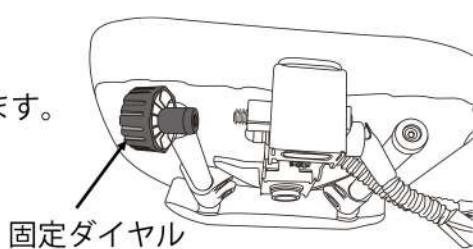
次のページを参考にして、  
適切な状態にしてください。

✗ 樹脂パーツが奥まで差し込まれておらず、途中でずれている。

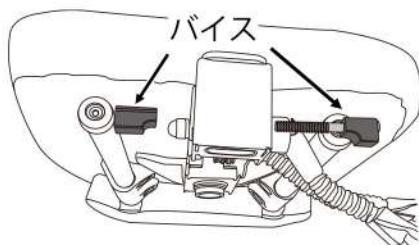


## 樹脂パーツの調整方法

(1) 固定ダイヤルを外します。



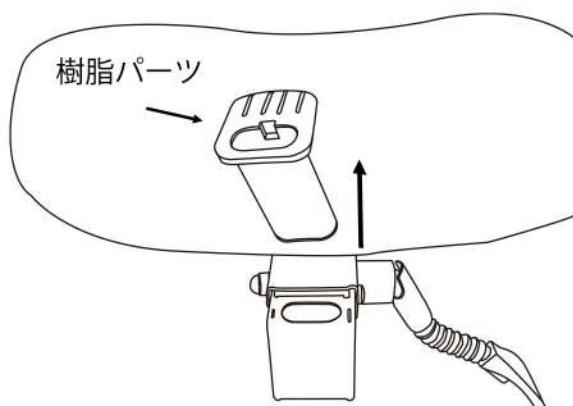
(2) バイスを外します。



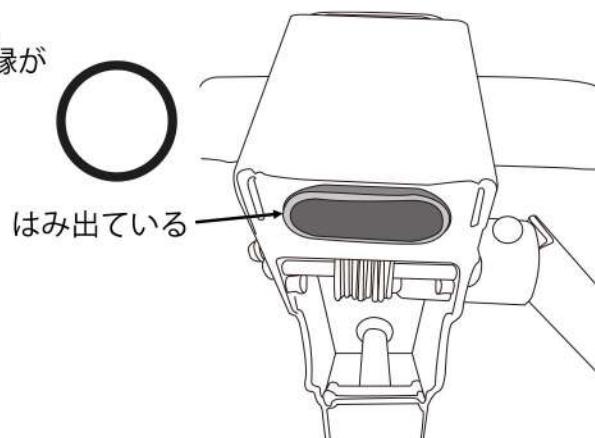
固定部品  
固定ダイヤル+バイス



(3) 一度、樹脂パーツを  
引き抜きます。



(4) 再度、差し込み口を差し込みます。  
カチッと音が鳴り、樹脂パーツの縁が  
はみ出ていると適切に取り付けが  
できています。



(5) バイスを取り付け、固定ダイヤルを「緩く」固定します（②⇒①の順）  
その後、P4（手順4）を参考に、適切な角度で背面を差し込んでください。

